

2. 実証内容と特色

取組内容

拠点校名	朝日中学校
地域クラブ活動に移行した部活動数	8部活
地域クラブ活動で実施した種目	バスケットボール、バレーボール、陸上競技、卓球、柔道、剣道、ソフトテニス、野球
運営主体名	朝日町型部活動コミュニティクラブ
運営類型	運営型（地域団体・人材活用型）
1 か月あたりの平均的な活動回数	バスケットボール（男子）月4回程度、バスケットボール（女子）月8回程度、バレーボール月10回程度、陸上競技、月4回程度、卓球月2回程度、柔道月10回程度、剣道月8回程度、ソフトテニス月8回程度、野球月8回程度
指導者の主な属性	部活動指導員、スポーツエキスパート、各競技指導資格者などの指導者
活動場所	朝日中学校、隣接する町体育施設X
主な移動手段	徒歩等
1人あたりの参加会費等（年額）	バスケットボール(男子) 0円、バスケットボール(女子) 0円、バレーボール 0円、陸上競技0円、卓球月 0円、柔道月 0円、剣道月 0円、ソフトテニス月0円、野球月 0円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

年間の事業スケジュール

時期	計画事項
4月	第1回朝日町型部活動コミュニティクラブ実行委員会 朝日町型部活動コミュニティクラブ地域指導者・部活動顧問・町教委との全体調整会議
8月	第2回朝日町型部活動コミュニティクラブ実行委員会 朝日町型部活動コミュニティクラブ地域指導者・部活動顧問・町教委との全体調整会議
11月	朝日町型部活動コミュニティクラブ地域指導者・部活動顧問・町教委との全体調整会議 地域指導者向け研修会
1月	朝日町型部活動コミュニティクラブ地域指導者・部活動顧問・町教委との全体調整会議
2月(予定)	地域指導者向け研修会
3月(予定)	第3回朝日町型部活動コミュニティクラブ実行委員会の開催 事業完了報告書・成果報告書等の作成

特色

- 朝日町では、生徒の部活動の多様な関わり方を目指し、部活動ガイドラインの遵守や地域資源（人材、施設）を活用し、地域全体での生徒の成長を育む部活動の地域連携を進めている。
- 地域の町スポーツ協会、各競技協会など関係者、行政、学校が連携し組織する朝日町型部活動コミュニティクラブを組織し、運営を行っている。
- 学校運営に関わる学校協働本部と連携し、部活動部会の地域支援員が、コーディネータを担い、学校、地域、指導者との連絡調整等を行い、連携の強化を図っている。
- 休日、平日の部活動の一部を「地域クラブ活動」に移行し、一体的に実施している。

朝日町型部活動コミュニティクラブ
～ 地域と連携した部活動の運営 ～

朝日町では、生徒の部活動との多様な関わり方や職員の超過勤務時間の削減を目指し、部活動ガイドラインの遵守や地域資源を活用した部活動の地域連携を進めながら、教員の働き方改革を推進します。

令和3年度より「学校部活動」の一部を「地域クラブ活動」に移行
・運動部：バスケットボール、陸上競技、柔道、剣道、卓球、ソフトテニス、バレーボール
・文化部：吹奏楽

部活動ガイドラインの遵守
・平日のうち1日、土日のうち1日以上を休業日とする。
・活動時間は、平日2時間程度、休業日は3時間程度とする。
・部活動休業日は、年間104日以上、そのうち週末は、少なくとも52日以上とする。

朝日町の豊かなスポーツ環境

【朝日町武道館】
○隣接する施設
・朝日町文化体育センター
・ふるまき体育館、卓球館
・タウンランド、テニスコート
・多目的広場
・武道館（柔道・剣道）
・高校グラウンド
・中学校体育館
・まちなか体育館

【朝日町文化体育センター】
○豊かな人材、協力的な組織
・実行委員会
・朝日町体育協会
・朝日町スポーツ関係団体
・朝日町文化・芸術関係団体
・朝日町PTA連絡協議会
・朝日町小中学校教員会
・朝日中学校
・朝日町体育センター
・富山大学
・朝日町教育委員会

【朝日町武道館】
【朝日町文化体育センター】
【テニスコート】

3. 成果と課題

成 果

- ◆コーディネーターをの配置により、活動における小さな課題の把握や、また、学校の日程等、施設の利用可能状況を各関係者から取得し、指導者への共有をはかることができ、運営上の小さな課題の解決を図ることができた。
 - ・活動時間と帰宅用スクールバスの時間運行時間の変更
 - ・施設利用状況を施設管理者から取得し、指導者へ共有
 - ・活動上におきた施設の損壊、けがへの対応の保険対応の連絡
- ◆R3年度から実施し、継続することで、関係者との連携にかかる情報共有、組織運営の事務的なことについては、構築できた。さらに、町中学校の部活動の活動の現状を相互に共有することで、今後の在り方について協議検討など、連携が強化された。
- ◆状況共有の媒体として、LINEやTEAMSを活用し、情報共有をすることができた。
業務従事以外での対応をどのように行うのか、緊急時のコーディネーターと教育委員会、学校関係者の相互関係についてのルール化の整備を行うなど、生徒の安全面の強化が必要である。

課 題

- ◆少子化に伴う生徒減少に伴い、中学校の部活動、及び一体的に活動している地域クラブ活動の実施について、団体競技について、運営実施が困難となっているケースがある。生徒のみならず、指導者についても今後の運営について、検討する必要がある地域移行に関わる組織関係者と情報共有を密にしながら、今後の持続可能なあり方についても検討を行う必要がある。
- ◆中学校の部活動と地域コミュニティクラブを一体的に実施してきており、平日の活動については、中学校の放課後が主な活動時間となっている。今後、持続可能な活動を検討する際に、活動時間の再検討が必要となってくる。また、学校管理外の活動の場所等への移動の手段の可否について、検討が必要である。

4. 課題解決に向けて、今後の方向性

課題解決に向けて

◆～持続可能な地域クラブ活動の運営について～

◆少子化に伴う生徒減少に伴い、中学校の部活動、及び一体的に活動している地域クラブ活動の実施について、団体競技について、運営実施が困難となっているケースがある。生徒の選択を妨げることなく、地域クラブ活動を通して、体力、技術向上、や社会性などが育成される場となるよう、生徒のみならず、指導者、地域移行に関わる組織関係者と情報共有を密にしながら、具体的方針について、R7年中に確定予定とし、今後の運営及び今後の持続可能なあり方についても検討を行っていく。

◆中学校の部活動と地域コミュニティクラブを一体的に実施してきており、平日の活動については、中学校の放課後が主な活動時間となっている。今後、持続可能な活動を検討する際に、活動時間の再検討や学校管理外の活動の場所等への移動の手段の可否について、具体的方針について、R7年中に確定検討を行っていく。

◆持続可能なクラブ運営とするため、謝金や、受益者負担について、検討する

地域連携・地域移行の推進に向けた今後のロードマップ

	R3	R4	R5	R6	R7	R8
朝日町						
運動部	7部活動 平日1日 休日1日 地域移行	7部活動 平日2日 休日1日上限 地域移行	8部活動(野球部追加) 地域移行可能な部活動 平日2日 休日1日上限 地域移行	8部活動(野球部追加) の持続可能な活動に向け、 クラブ活動の在り方を検討	8部活動(野球部追加) の持続可能な活動に向け、 クラブ活動の在り方を検討	持続可能な地域クラブ運営の実施
文化部	1部活動 平日1日 休日1日 地域移行	1部活動 平日2日 休日1日上限 地域				
指導者	生徒への適正な指導提供のため、連携強化を図る。		コーディネーターの配置をし、 一層の連携強化を図る。 運動部活動(クラブ指導員)の 謝金準備の見直し	コーディネーターの配置をし、 一層の連携強化を図る。	コーディネーターの配置をし、 一層の連携強化を図る。	
顧問						
行政						
運営財源	国の研究委託費により、運営			次年度以降の運営費の確保手段について検討	新たな財源による運営	